特集　第5回 JABマネジメントシステムシンポジウム全講演録

Part 6　質疑応答 & 閉会挨拶

編集部

質疑応答

各WGの発表が終わった後、パネルディスカッション方式の質疑応答が行われた。これまでの発表を聞いた来場者から質問票を提出してもらい、それにパネリストが回答するというもので、誌面の都合でその内容は割愛するが、出席したコーディネーター及びパネリストを紹介しておく。

コーディネーターは基調講演を行った山田秀氏が担当、パネリストとして、WG1から、主査を務めた伴野道彦氏と前田京子氏（愛知県経済農業協同組合連合会〈JAあいち経済連〉食肉部食肉総合課開発担当課長）、WG2から、主査を務めた山田衛氏と清川卓二氏（清川メッキ工業株式会社専務取締役）、WG3から、主査を務めた須田晋介氏と勝俣宏行氏（日本検査キューエイ株式会社執行役員技術管理部長）、主催側から米岡優子氏（公益財団法人日本適合性認定協会〈JAB〉常務理事認定センター長）が質疑応答に当たった。

JAB常務理事・米岡優子氏

閉会挨拶

最後にJABの米岡氏が閉会の挨拶を行った。米岡氏は挨拶の中で、2015年版審査のためのガイドラインの発行について触れ、「2015年版の運用や審査の現場での課題がだんだん見えてきました。今日はそれを皆様とシェアをさせていただいて、課題に対しての一つのアプローチを発表させていただきました。このシンポジウムの成果物を引き継いで、残り後半に向けてJABでは、2015年版の認定審査において、こんなところを見てほしいといったようなガイドラインにまとめたいと考えています。これは、認証機関様にとっては、審査のあり方に適用ができるものですし、組織様にとっては、自己評価の場面でお使いいただけると考えています」と述べた。▼

JABマネジメントシステムシンポジウムの質疑応答風景